

News

オープンキャンパス

8月10日(水)、2016年度の神戸大学農学部オープンキャンパスが開催された。朝早くから多くの高校生や保護者の方が絶えず訪れた。今年は本研究室のみで一つの教室を使わせていただいたため、比較的スペースに余裕があり、来場者の方々には落ち着いて見ていただくことができたのではないだろうか。



風船で教室の外の廊下に装飾をする奥野菜月(B4、奥)と岸田佳織(M2、手前)。犬をモチーフにしたバルーンアートが華を添える。

昨年同様、最初に簡単に研究室の紹介をした後、興味のあるポスターを見ていただくという形を取った。今回用意したポスターは以下の通りである。

- ① 食品の機能性
- ② 乳酸菌の腸炎抑制効果
- ③ 抗アレルギー効果を持つ食品因子
- ④ 発がん抑制効果を持つ食品因子
- ⑤ 抗マラリア効果を持つ食品因子
- ⑥ 腸管ホルモン分泌を介したEGCGの生体調節機能
- ⑦ 味覚と栄養状態
- ⑧ 研究の進め方について
- ⑨ 研究室の一日

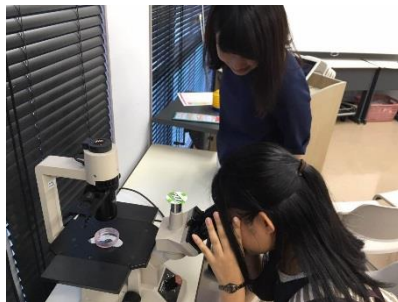
ポスターの担当者は、実験装置や顕微鏡、レシピ集を用意するなど各自趣向を凝らし、説明に当たった。また、ポスターに対する質問だけでなく、大学や受験勉強、進路に関する相談を受けることもあり、真剣にアドバイスする様子も見られた。高校生にとっては、大学生から生の声を聞くことができ、抱えていた疑問や不安を払拭する良い機会になったようだ。



用意したパワーポイントで研究室について紹介する吉川啓明(M1)。昨年の反省を活かし、長くなりすぎず、それでいて分かりやすい丁寧な発表を心掛けた。



ポスター内容を説明する渡辺衛央(M1、奥)。オープンキャンパスは2年目のはずだが、少し緊張気味か・・・？



顕微鏡を覗く高校生に説明をする竹村有裕美(M1)。実際に細胞に触れてもらおうという考えである。

そして、教室の前を通る来場者の目を引きとめたのは、本研究室の

アイドル、うぱねである。ウーパールーパーという名前を耳にしたことはあるが、実際に見るのは初めてだという方が多く、「可愛い！」、「写真撮ってもいいですか？」など大人気であった。



可愛い高校生に囲まれ、喜んでいるうぱね(水槽手前)。

一日中立っていたこともあり、オープンキャンパス終了後は全員が足の疲労を訴えていた。その夜、学生のみではあったが焼肉を頬張り、ささやかな打ち上げを行った。準備も含め、長時間お疲れ様でした！

フルーツパーティー

8月24日(水)、今年の3月に卒業した池崎大志くんが送ってきてくれた果物を、食べ頃を逃さないようにと皆で頂いた。冷蔵庫に入っていた黄桃のうちの一つがなぜかシャーベットのよう凍っていたが味には問題なく、どれもとてもおいしかった。



黄桃やシャインマスカット、ピオーネ、梨といった立派な果物が並ぶ。

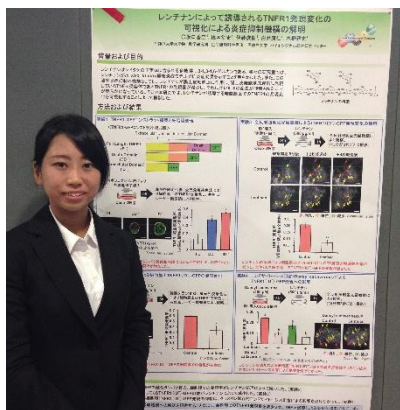
池崎くんありがとうございました！

日本食品科学工学会 第63回大会

8月25日(木)から27日(土)にかけて、名古屋市にて日本食品科学工学会第63回大会が開催され、坂口香奈(M2)が参加し、今大会が初の学会発表となった。



本研究室の卒業生である、名城大学農学部の小原章裕教授が今大会の会頭を務めておられる。



作成したポスターの横で記念撮影。

小原教授と交流会と一緒に写真を撮っていただいたとのことで、その時の一枚を掲載する。



坂口(M2、左)と小原教授(右)。共に笑顔で、和やかな雰囲気伝わってくる。

学会発表

日本食品科学工学会第63回大会

名城大学天白キャンパス

2016年8月25日(木)-27日(土)

○坂口香奈、橋本堂史、伊藤俊樹、白井康仁、水野雅史「レンチナンによって誘導される TNFR1 発現変化の可視化による炎症抑制機構の解明」大会講演集 P.138

編集後記

オープンキャンパスの他にも8月といえばお盆休み、普段なかなかできない帰省や旅行に行った人が多かったです。そして B4にとっては大学院入試、結果は果たして…。

竹村 有裕美(M1)